

商業・貿易・金融

卸売・小売業(事業所数、従業者数等)

令和3年6月1日現在の卸売業の事業所数は3,211事業所、従業者数は2万5,115人、年間商品販売額は1兆7,805億円となっています。

また、卸売業の従業者数を業種別にみると、機械器具卸売業が8,087人(構成比32.2%)で最も多くを占めています。

一方、小売業の事業所数は1万1,879事業所、従業者数は9万5,834人、年間商品販売額は1兆7,447億円となっています。

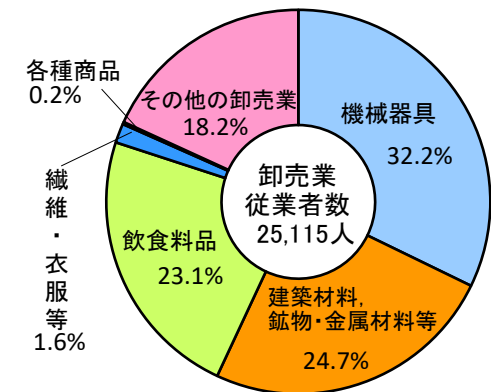
また、小売業の従業者数を業種別にみた場合、飲食料品小売業が3万9,519人(構成比41.2%)で最も多くを占めています。

業種別年間商品販売額

令和2年の年間商品販売額を業種別にみると、卸売業は機械器具卸売業が5,665億円(構成比31.8%)で最も多く、次いで建築材料、鉱物・金属材料等卸売業5,182億円(同29.1%)、飲食料品卸売業3,652億円(同20.5%)と続いています。

小売業は飲食料品小売業が5,509億円(構成比31.6%)で最も多く、次いで機械器具小売業3,872億円(同22.2%)などとなっています。

図34 卸売業の従業者数の産業分類別構成
令和3年6月1日現在



資料出所 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

図36 卸売・小売業の年間商品販売額の産業分類別構成

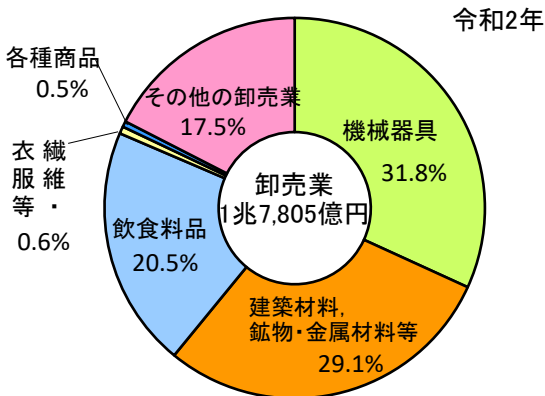
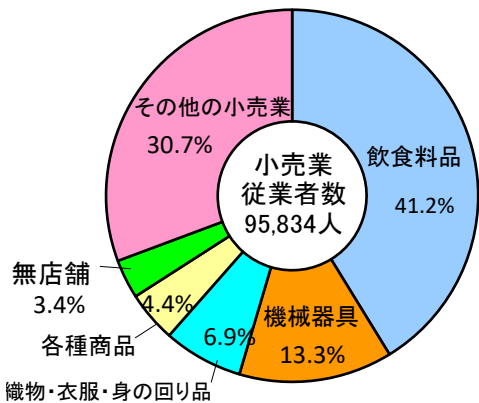
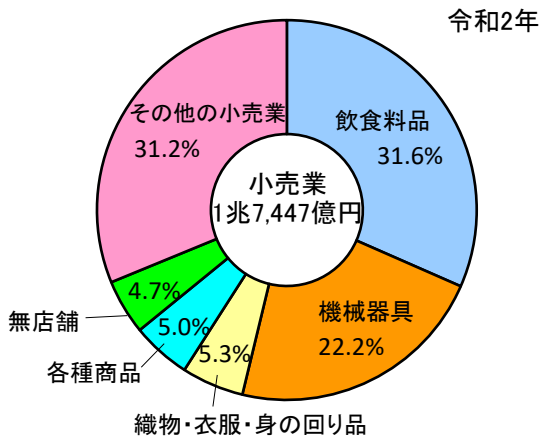


図35 小売業の従業者数の産業分類別構成
令和3年6月1日現在



資料出所 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」



資料出所 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

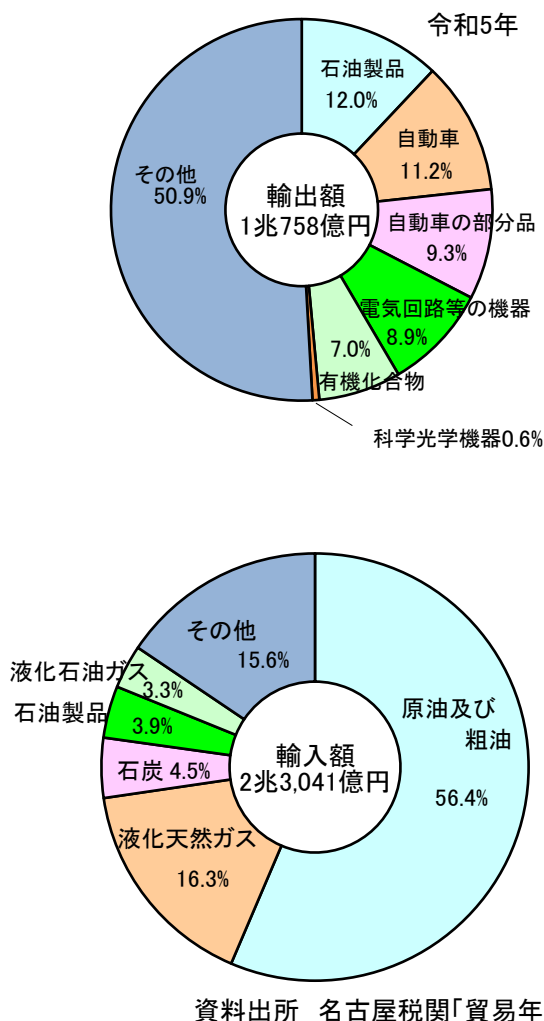
貿易

輸出・輸入ともに本県の大半を占める四日市港の令和5年の貿易状況をみると、輸出額は1兆758億円で前年に比べ219億円(2.1%)増加し、輸入額は2兆3,041億円の前年に比べ2,111億円(8.4%)減少しました。

品目別でみると、輸出は石油製品1,293億円(構成比12.0%)で最も多く、次いで自動車1,210億円(同11.2%)、自動車の部分品1,005億円(同9.3%)、電気回路等の機器961億円(同8.9%)、有機化合物752億円(同7.0%)の順となっています。

輸入は原油及び粗油が1兆3,000億円(構成比56.4%)で最も多く、次いで液化天然ガス3,746億円(同16.3%)、石炭1,044億円(同4.5%)の順となっています。

図37 四日市港の品目別貿易状況



金融、企業倒産

令和6年3月31日現在の預貯金残高は、16兆9,808億円となり、前年に比べ1,213億円(0.7%)増加しました。貸出残高は、5兆8,389億円となり前年に比べ897億円(1.6%)増加しました。

令和6年の企業倒産件数は135件となり、前年に比べ5件(3.8%)増加しました。負債総額は193億円となり69億円(55.3%)増加しました。

図38 預貯金・貸出残高の推移

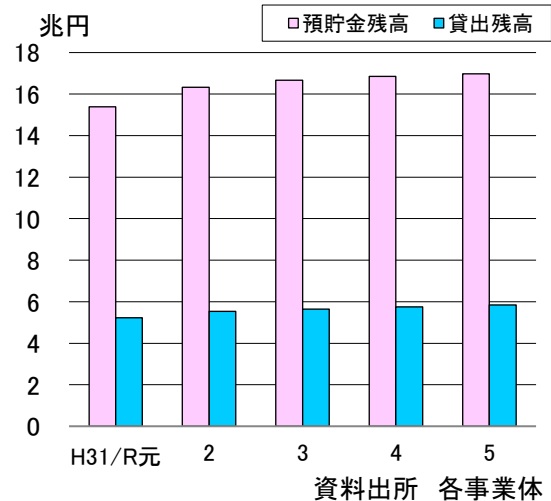


図39 企業倒産状況の推移

